

今年度第4組インターシティミーティングを振り返って

IM実行委員会

委員長 **大熊 實**

(八尾東RC)

八尾東RCをホストクラブとする今年度インターシティミーティング(IM)は、去る1月24日(土)シェラトン都ホテル大阪にて盛大に開催されました。

足掛け3年、毎月毎に講師選定、会場設定から始まり、テーマ選定に苦慮を重ねつつ、当日の式次第の大枠の決定、そして細部へのつめの作業、一方、予算の策定も併せて進行させながら、苦労を重ねました。9月に入って準備委員会→実行委員会開催を予定通り進めることが出来ました。

本年度IMに対して、私のコンセプトは過去のIMのやり方を踏襲しつつも、IM本来の知識を広める講演は大切なのだが、それ以外にロータリーをもっとわかりやすく、楽しんでほしい—ちょっぴり今までにない変わった企画をたて、ロータリーに親しんで欲しいと思いました。折角、近隣3都市10RC会員が一堂に会するのであるから、あまり“型”通りでなく、そこ、ここで笑いがあり、友情が芽生え、やがて大きく相互親睦が波紋の如く広がってゆくきっかけになる場、会合になればと思っただけのスタートであったのです。

さて、第1テーマの『健やかな長寿をめざして』と題する大阪大学 医学部 名誉教授 荻原俊男先生のご講演に際しても、ロータリアンの高齢化や健康不安が続く中、出来るだけ明日の自分(各会員)の健康、長寿につながる様なやさしい現実的なお話をお願い申し

上げました。パワーポイントを用いた御講演でした。

第2のテーマは『我がクラブの今後の夢を語ろう』と題して10RCの会長様全員、舞台上に御登壇たまわり、あらかじめ「奉仕活動」「クラブ運営」などお書きいただいた冊子を全会員に配布して居り、この資料を皆様ご覧になりながら、つまり、聞いて見て読みながら、話題のCLPに絡む今日と、今後のロータリー・ロータリークラブのあり方・活性化について、お話し頂き、次いで、ロータリーに対する今後の「夢」を『新春放談』と云う全く新しい形式をとって語って頂きました。当初は各会長様、緊張の御様子でしたが、進行するにつれ、和やかなトークとなり、会場からも時々笑い声も出る新春にふさわしい有意義で楽しい新春放談になったのではないかと思っています。

第2部は、立食パーティーと致しましたが、その間詩吟や剣舞、そして若いロータリアンの集まる大阪ネクストロータリークラブの友情出演で、叙情歌演奏など最後の「手に手つないで」まで大勢の会員様が残って頂き、時の経つのを忘れる程、あちこちで談笑が続き、IM目的である近隣ロータリアン相互の親睦が高まったひと時ではなかったかと喜んでおります。

最後に横山G、渡辺G補佐のご支援に深く感謝致します。

